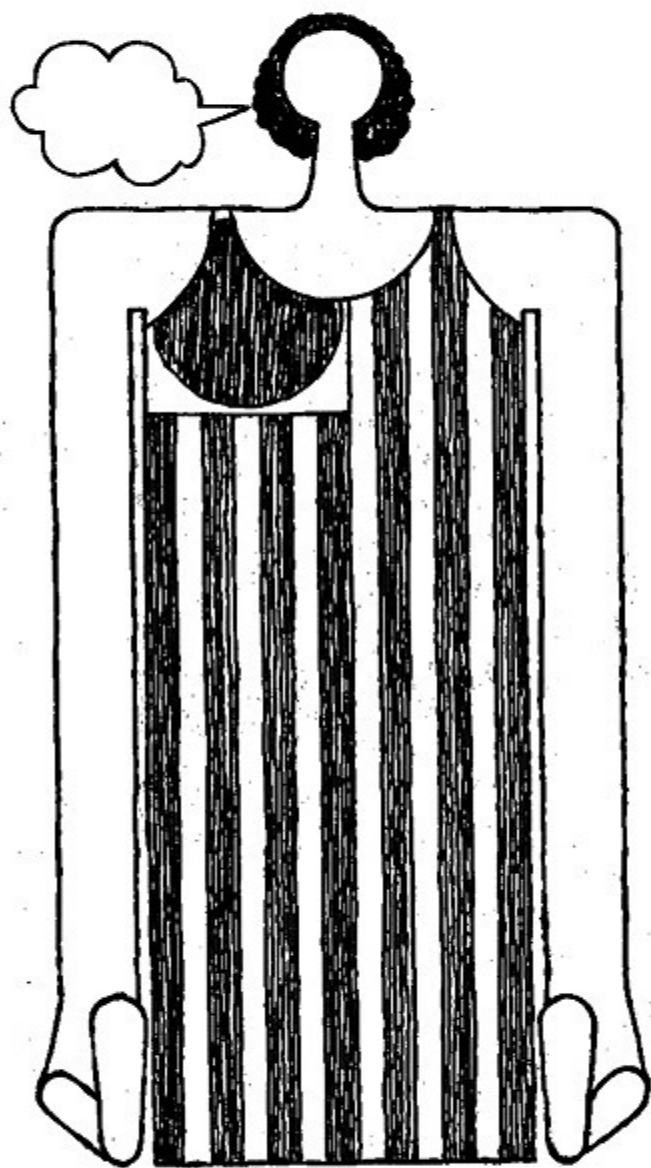


The 13th マンドリン・コンサート  
Mandolin D  
Concerts Society Spectrum Ky



## 《個性を創造》

君の君による君のためのフィーリングを  
そこに新しい男が生まれる。  
フジタは服飾編曲者です。

アパレル アレンジャー

メンズショップ

# フジタ

岩国・麻里布・2-3-24  
PHONE 21-0250

# 第13回 定期演奏会



1970 8.22 PM6:30

岩国市体育館

主催：岩国プレクトラム・ソサエティ

後援：岩国市教育委員会

## ご 挨拶

立秋も過ぎ朝夕どことなく秋めいてまいりました、今宵第13回定期演奏会を開催するにあたり、皆様方多数のご来場をいただきまして私達一同心から感謝いたしております。

平素仕事、勉学の余暇を見て練習に励んでまいりましたこの一年間の成果をここに皆様方にお聞きいただけることにこの上ない喜びを感じております。特に今回はマンドリン作曲界の第一人者であります鈴木静一先生の曲を集めまして従来とはおもむきの異った演奏に一同張切っております、どうかごゆっくりお聴き下さいまして豊かな気持をおみやげになさって下さいませ。

末筆ながら平素ご援助いただいております岩国市教育委員会、今回特にお力添えいただいた岩国中学校の熊谷宗円先生、参助出演の方々、また常に変わらぬ同好の方々のご厚意に厚くお礼申し上げます。

岩国プレクトラム・ソサエティ

会長 富 沢 元 生

室内装飾専門店

柳 屋

岩国駅前アーケード街 TEL21-0394・6748

## 岩国と私

私は4年前マンドリン界に復帰してこのかた「岩国」に関心を持っていましたがその原因は岩国高校プレクトラム・アンサンブルの存在であったようです。

そしてその路を拓いたのは、私が専任指導を引受けていた京都立命館大学マンドリンクラブのコンサートマスター新井義悠君でした。

昨年秋広島商大マンドリンクラブの定演に招かれ広島を訪れた時初めて岩国高校を訪れ、岩国プレクトラム・ソサエティの諸氏ともお会いしたのです。

たった一夜の滞在でありましたが「岩国」には何か私に語りかけるものがありました。

マンドリンのふるさと——それもありましたがもうひとつ好ましい古めかしさを留めている岩国——ことに、そこに語り伝えられている民話の数々には音楽の素材として強い魅力を感じました。不思議な懐しさのこめられた妖怪談——そしてそれが少しの抵抗もなく宛はまる岩国のたえずまいには何か私に連想がありました……………。

子供の時から好きだったアンデルセンの童話——氷姫——砂丘の物語——プシケ——そしてマンドリンを弄び始めて間もなく「人魚」を作曲しました。

18、19で何が出来るでしょう。それでも書かずにいられなかった……………そうです！アンデルセンの「鬼火が町に来る」。書きたくても書けなかったあの物語に感じた〈不思議な懐しさ〉それを岩国に感じたのです。

私はいつかその幻想を5線の上に乗せ、出来ることなら岩国のマンドリンオーケストラの手で岩国で聞きたい！

鈴木 静一 1970 Aug

## くすりと化粧品 株式会社 成和薬局

本店 岩国市麻里布町1丁目3-4 TEL21-0652  
支店 岩国市麻里布町2丁目7-8 TEL21-3018

# PROGRAM

## 第 1 部

峠 ..... 鈴木 静 一 作曲

劇的序曲「細川ガラシヤ」 ..... 鈴木 静 一 作曲

ロシア民謡による幻想曲「ヴォルガは流れる」 ..... 鈴木 静 一 作曲

第1楽章 前 奏 曲

第2楽章 凍れる河 (走るトロイカ)

第3楽章 カザンカの流りに浮ぶ鴨

第4楽章 赤い船 (ステン・カラージン)

第5楽章 月光を浴びて踊ろう

朗 読 田 中 克 佳

コーラス 岩国市民合唱団

## 第 2 部

### 軽 音 楽

夜のタンゴ  
夢のタンゴ  
マラゲーニア  
マイアミビーチルンバ  
ベサメムーチョ  
タ ブ ー

### 冨永兄妹によるカルテット

花  
叱られて

冨永勝之  
古田祐子  
冨永恭子  
冨永隆行

## 第 3 部

### アンデルセン童話による譚詩とマンドリンオーケストラ

「人 魚」 ..... 鈴木静一 作曲

ナレーター 山原玲子  
ソプラノ 野村三重子

## 曲目解説

### 峠

鈴木静一

郭公（かっこう）の鳴く沢 険しい登り  
高みに憧れる若い心に 足どりは勇む  
ようやく疲労と困憊が訪れる  
此の時 行く手に空の輝き 峠  
しばしば長閑な尾根づたい

やがて道は再び沢へ  
降り道に すこやかな歩み 遠ざかる  
後に 郭公の一声  
初夏の高原の午後 白雲がなびき さわやかに風が吹きぬける  
白帽の一团が峠を過ぎてゆく

### 劇的序曲「細川ガラシヤ」

鈴木静一

本曲は織田、豊臣時代の動乱絶間なき世に、明智光秀の三女に生まれ、信長の媒酌で細川忠興に嫁したが、父光秀の謀叛に端を発した波乱多き37年の生涯を送り、最後は秀吉亡き後の豊臣方の策謀に抗して、自らの決意で侍臣の刃先を胸もとに受けて火焔の中に身を投じ、徳川幕府 300年間、熊本城主細川の家系を永続させる礎となった麗しき烈婦ガラシヤを描いた譚詩曲です。作者は昭和10年頃、故長田幹彦氏が脚色演出した舞踏劇のために作曲したが、勿論その原譜はなく、僅かにかすかな記憶に残るガラシヤのテーマだけを採り上げて、動乱や聖歌のイメージ等を新に作曲、全く別個の構想で劇音楽風に書き下したものです。

本曲の構成は大略次のように解釈される。

- 序 奏 部 Adagio 冒頭の短い悲痛な楽句の強奏は、ガラシヤの悲運を暗示する。  
Allegro 戦乱動乱相継ぐ当時の不安世帯を表現する。  
Andante 宗教的な曲調はその頃信長、秀吉等に容認されたキリシタン宗の伸展を語る。
- 本能寺の変 Allegro ma non troppo ガラシヤ苦悩の発端となった父光秀の叛乱  
Adagion Pesante 信長の死、光秀の死等の示す戦乱の悲哀。



カメラの御用命は  
株式会社 **リリーカメラ**

本店 岩国市一番町商店街 TEL② 1038  
支店 岩国市駅前アーケード街 TEL② 2674  
支店 岩国市航空隊前 TEL② 1037



優美なガラシヤ Elegante 琴の音を偲ばせるギターのリズムに、フルーツのソロを前駆としてガラシヤのテーマが導かれる。高度の教養と端麗な容姿のガラシヤが描写されるが悲運の哀感もただよう。

不安 Poco Piu Mosso e stretto 低音部の不安な動きが世相の不安、ガラシヤの苦悩を描く。

聖歌 Adagio 心の安定をキリシタン宗門への信仰に求める。しかしこの希望の光りも、石田三成等の圧迫の手に覆われる。

豊臣方の襲撃 Presto 人質として大阪城内への移動に応じないガラシヤに討手の軍勢が向けられる。会津討伐の留守をあずかるガラシヤは夫の命に従って、家名を死守する決意を定める。

ガラシヤの比 Lento Espressivo 自殺嚴禁のキリシタン宗の掟により、侍臣小笠原小齊の刃先を受けて死す。

### ロシア民謡による幻想曲

鈴木 静一

#### 『ボルガは流れる』

ボルガ河はモスクワの西方フィンランドとの国境に近いバルダイ丘陵の湿地帯から発流して東に向い、南に転じて、ボルゴグラード（旧スターリングラード）あたりの下流で広大な浸水地をつくって、アストラハン附近で大きな三角州となって乱流、カスピ海に流れ込む欧州第一位の長流である。冬季は結氷するが、豊富な水量と多数の支流はこの国の運輸や経済の発展に、極めて重大な役割を果し、『ロシアの母』と讃えられ、多くの民謡にも謡われてきた。この作品の制作に当って、作者は有名な『ボルガの船唄』を主題として、『走れトロイカ』、『ステンカラー君』、又、『バラライカ曲の』月は皎々、などの組み合わせに巧妙な作曲手法を施して、別個の幻想曲の制作を意図した。単なる民謡のメドレーではなく、ボルガの悠久の流れが語る悲しみと喜びを綴ったものである。

皆様の電化のデパート



全日電チェーン

# 佐藤電器

駅前電化センター 岩国市駅前中央通り TEL (代) ②8281

川下電化センター 岩国市川下本通り TEL ②7754

## 曲目解説

### 前奏曲

ヴォルガノ

洋々と流れる ヴォルガの河面を渡って 寺院の鐘が ひびいてくる  
ヴォルガは  
ロシアの西北 フィンランドの国境に近い パルダイ丘陵にはじまる。  
やがて 森林地帯を出ると ヴォルガは  
モスクワの北を 悠々と東へ流れ  
カザンから やや西に偏してゆるやかに南下し  
延長三千七百軒 アストラハンで カスピ海に入る。

大いなる母 ヴォルガ

春ノ そのゆたかな流れは 雪解け水を溢れさせて 沿岸の土壌を潤し  
そのゆるやかな流れは 多くの船の航路を支える。  
かつてはタタールと戦ったプリンスイーゴリの軍船を浮べ  
十七世紀の革命児ステンカラージンも  
カスピ海にかけて この河を上下した。  
ヴォルガによせられた歌は多い。  
いま 私たちは そのなかから ポートマンソングをテーマとしよう。

### 凍れる河 (走るトロイカ)

冬 寒帯に近いヴォルガは結氷して  
船の通行を許さない  
代って トロイカが軽快に登場する。

しかし一旦風雪が吹き荒れた時  
一望眼を遮るもののない氷原は  
冬將軍の きびしい世界である。

### カザンカの流りに浮ぶ鴨

母なる河  
ヴォルガにそそぐ支流は多い  
カザンのすぐ下流で  
ヴォルガにそそぐカザンカの流りは  
いつも多くの鴨の群を浮べゆるやかに流れる  
その河の面に美しい曲線を描く渦巻は

まるで美しい女性の顔を飾る巻毛の様  
そして泳ぎまわる鴨たちはそれを祝福し  
さあ 暴れると痛い  
そっと静かにとかすのだ、鴨たち  
その回りの農民たちは  
そんな素朴なたわむれをまじえて  
昼休みのひとときを楽しむ



■店もトップ  
■洋服もトップ  
■サービスもトップ

日本洋服 **トップチェーン**



岩国 **大丸**

岩国駅前本通りアーケード街 TEL (21) 3158

本店・株式会社 **吉田藤**

1. ゆるやかに流れる河の

流れに浮ぶ鶴の群

アイダリュリ アイダリュリ

流れに浮ぶ鶴の群

2. 流れる水はきれいな巻毛

巻毛をとかす鶴の群

アイダリュリ アイダリュリ

水の巻毛を鶴が梳く

3. 強くとかすながわいい鶴よ

そっとそっと とかすのだ

アイダリュリ アイダリュリ

流れの巻毛はそっととかせ

### 赤い船 (ステンカラージン)

やがて南下するボルガはカザンから

二百軒ほど下流のクイブイシエフで

大きく迂廻する。

ジエグリの山地である

十七世紀 ロシア王朝の苛酷な農奴制に堪えかねた

農民一揆の根拠地

ステンカラージンの根拠地であった。

ラージンは カスピ海の沿岸に生れ

長じて盗賊となったが

その行動は常にツァーの政治への反抗に貫かれていた。

農民たちは のちまでその物語を語りつたえる。

大いなる流れに浮ぶ島かげから

ステンカラージンの真赤な大船がやってくる。

船のやぐらでは ベルシヤの美女を擁して

ラージンは盃をあげる

しかし 手下どもは酒色に酔い痴れた主領の姿に

嘆きはじめた その不満の声。

奮然と立ち上がるラージンは

最愛の美女を逆巻く波に投げこむ

沈んでいた士気は ふたたび昂揚する。

くすり

カネボウ化粧品

# 賀屋薬局

岩国市麻里布町3丁目12の10 TEL21-0465

# MEMBERS

コンダクター 高島 信人

コンサートマスター 山添 修志

司 会 田中 克佳 (RCC)

Piano		Timpani		Percussion		Ooba		Flute
森脇智恵子(賛)		兼本敏子(Jr)		白銀 幸(Jr)		兼重文子(Jr)		竹崎トモ子
		富沢 元生		守田 史郎		石川善久(Jr)		Mando
		比江島静代		古田 祐子		角 茂美		山根 道広
		岩井 由美		角 真喜子				
		江木 史子		浦井 英子		田村 隆司		植田須美子
		白木 泰子		宗正 恵子		柴田 利和		小西 麗子
河田亮子(Jr)		江口道子(Jr)		松崎みどり		和久本忠史		山根 義広
富永 恭子		広本佳津恵		越智 美幸				Mandola
藤本 匡孝		上田 洋子		岡部むつみ				
岡本 操		山本むつ子						
山添 修志		新井 義悠						
				2nd Mandolino				
				1st Mandolino				

高島

Conduc

朗 読 田中克佳  
 ナレーター 山原玲子  
 ソプラノ 野村三重子  
 コーラス 岩国市民合唱団

		安田 英雄		Contra Basso		吉岡 光則		藤岡 寿		Electone		吉田美千代(贊)	
		Mando Lone		田中 正充									
Cello		山本 芳生		奥田 憲三									
		岡部晃子(Jr)		磯部 悦子		中村浩子(Jr)		奥西 仁(Jr)		兼本 静江			
藤村 文子		新谷康彦(Jr)		三上 悦子		角 由紀子		清水 文隆		松塚 展門			
原 和正		永易 澄子		井原 真澄		富永 隆行		八百谷和枝		村中 文子			
三浦 孔司		酒井喜久子		加藤 範久		茂里川朝子		西村 春恵		繁沢 秀治			
Tenore				森脇 清子		沖永 匡		中原 悦子					
						蛭子 忠行		富永 勝之					
						Chitarra							

信人

## 岩国プレクトラム・ソサエティ紹介

「岩国プレクトラム・ソサエティ」このサークルが発足したのは今から13年前になります。

岩国高校プレクトラム・アンサンブルの卒業生が高校時代、故熊谷先生の指導により体得したマンドリン音楽の楽しさ、又アンサンブルで結ばれた人間関係を社会に出ても異なった職場で働きながら続けてゆこうというもので、私達は自己の人間性の向上を図る事を目的とし、プレクトラム音楽のもつ無限の芸術性を追求しております。

現在会員は300名を越えて全国各地で活躍しておりますが、実際にここで演奏することのできる会員は70余名であります。

週に一度の練習、休日を利用して養老院、養護園、母子寮等への慰問、その他演奏会の賛助出演、また時にはハイキング等リクリエーションの場を設け会員の懇親を図りながら厳しい練習を行なってきました。そして私達サークルの一年を総括するこの定演で全曲目を弾き終え最後に私達のテーマ音楽である行進曲「若人」を会場の皆さまと一体となって弾いている時、楽しかったこと、苦しかった日々の練習などすべてが思い出され、また弾き終えた満足感で目頭が熱くなるのを覚えます。

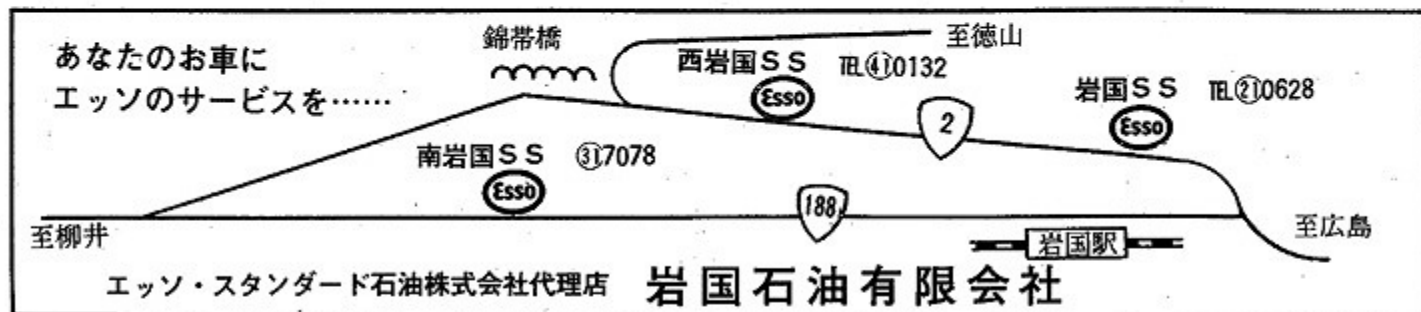
4年前からこの演奏会の収益を母校のクラブへ寄附しようという目的の為に有料で聞いて頂くことにいたしました。

岩国市民で成るこのサークルに皆さまの暖かいご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

尚、昨年まで岩高プレクトラム・ソサエティと称していましたが、今年より岩国プレクトラム・ソサエティと改名いたしました。これは岩国高校卒業生のみならず広く一般の方も参加していただき、よりはば広いサークルにしようという考えであります。御希望の方は現会員に気軽に相談していただき、より多くの御入会をお願い致します。

一同明日から又来年の14回定演をめざしてがんばっていく処存ですが、同好の方々と共に練習に部外活動に大いに活躍したいものです。

幹事 和久本 忠史



音楽とコーヒー

純喫茶  
サンドイッチ・パーラー

コナ

駅前 TEL ②1 0 5 5 2



カフェテリア亜土はおぎようぎの良い人達の集って来る  
コーヒーと軽食のサロンです。

ヤングレディとヤングゼントルマン。何のお話し？  
おいしいフランスパン、ハンバーグステーキ、サラダ  
時折りすてきなおじさまがすてきな女の子と  
すてきな思い出ばなしを語っています。  
カフェテリア亜土はそんなお店です。

亜土

岩国駅前公園通りふんすい前  
もしもし 21-4357

